

製品名: KAT8 / MYST1 / MOF (9E16) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe12907**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,FC,IP |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。 |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:500,ICC/IF 1:500-1:2000,FC 1:100-1:200,IP 1:100-1:200 |
| 分子量 | 52kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | KAT8 |
| 別名 | hMOF; MOF; MOZ; MYST1; SAS2; SAS3; YBF2; YBF2/SAS3; ZC2HC8; |
| 遺伝子 ID | 84148.0 |
| SwissProt ID | Q9H7Z6 |
| 免疫原 | ヒト MOF の合成ペプチド |

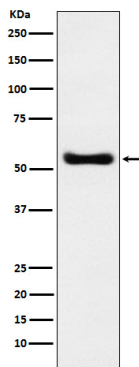
背景

転写活性化に関与する可能性のあるヒストンアセチルトランスフェラーゼ。ATMの機能に影響を与える可能性がある。転写活性化に関与する可能性のあるヒストンアセチルトランスフェラーゼ (PubMed:12397079, PubMed:22020126)。ATMの機能に影響を与える可能性がある (PubMed:15923642)。MSL複合体の一部として、ヌクレオソームヒストン H4 のアセチル化に関与し、特に H4K16ac を生成する (PubMed:16227571, PubMed:16543150, PubMed:21217699, PubMed:22547026, PubMed:22020126)。NSL複合体の一部として、ヌクレオソームヒストン H4 の複数のリジン残基におけるアセチル化に関与する可能性がある (PubMed:20018852, PubMed:22547026)。この活性はMSL複合体の活性 (PubMed:20018852, PubMed:22547026) よりも特異性が低い。また、TP53/p53 の Lys-120 をアセチル化することもできる。

研究分野

-

画像データ



HeLa 細胞溶解物中の KAT8 / MYST1 / MOF 発現のウェスタン プロット解析。